

事業所名

児童発達支援さくらんぼ

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

2 月

日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・預かり、子守りではない、人間の土台をつくるための療育を ・身体、心、社会性、言葉、文化性などの発達を重視する ・大人は学び続ける。 						
支援方針		口先だけで指示しない。大人が環境を整えた中で、子ども達の自主性（自分で考える、自分で決断する）を育む。						
営業時間		13 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	生活リズムを整える、清掃の当番活動、洗濯物を畳む、おやつを人数分に振分ける、使ったコップや食器を洗う、体重身長測定						
	運動・感覚	リズム遊び、散歩、アスレチック、雑巾がけ、水遊び、プール、川遊び、魚とり、カニつかみ、サッカー、鬼ごっこ、わらべ歌遊び、バドミントン、縄跳び、大縄跳び、リースづくり						
	認知・行動	描画、塗り絵、おやつづくり、調理、ブロック、パズル、雑巾縫い、三つ編み、刺繍、ボードゲーム、カードゲーム、トランプ、球体迷路						
	言語 コミュニケーション	話合い、読み聞かせ、年賀状作り、しりとり、なぞなぞ、わらべ歌遊び						
	人間関係 社会性	キッズカフェの宣伝活動、夏祭りでのゲームを創作						
家族支援		保護者との面談、手帳のやり取り、保護者懇談会			移行支援		ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備	
地域支援・地域連携		キッズカフェ、夏祭りでのゲーム大会運営、実習生の受入れ			職員の質の向上		事業所内研修・勉強会（外部講師招へいを含む）、斎藤公子の保育研究グループでの研修（年2回）	
主な行事等		保護者会主催による懇談会、参観日、サーフィン、ボディボード、行滕登山、宿泊体験、運動会、クリスマス会、ソーメン流し、卒業旅行、雪遊び、卒園式						